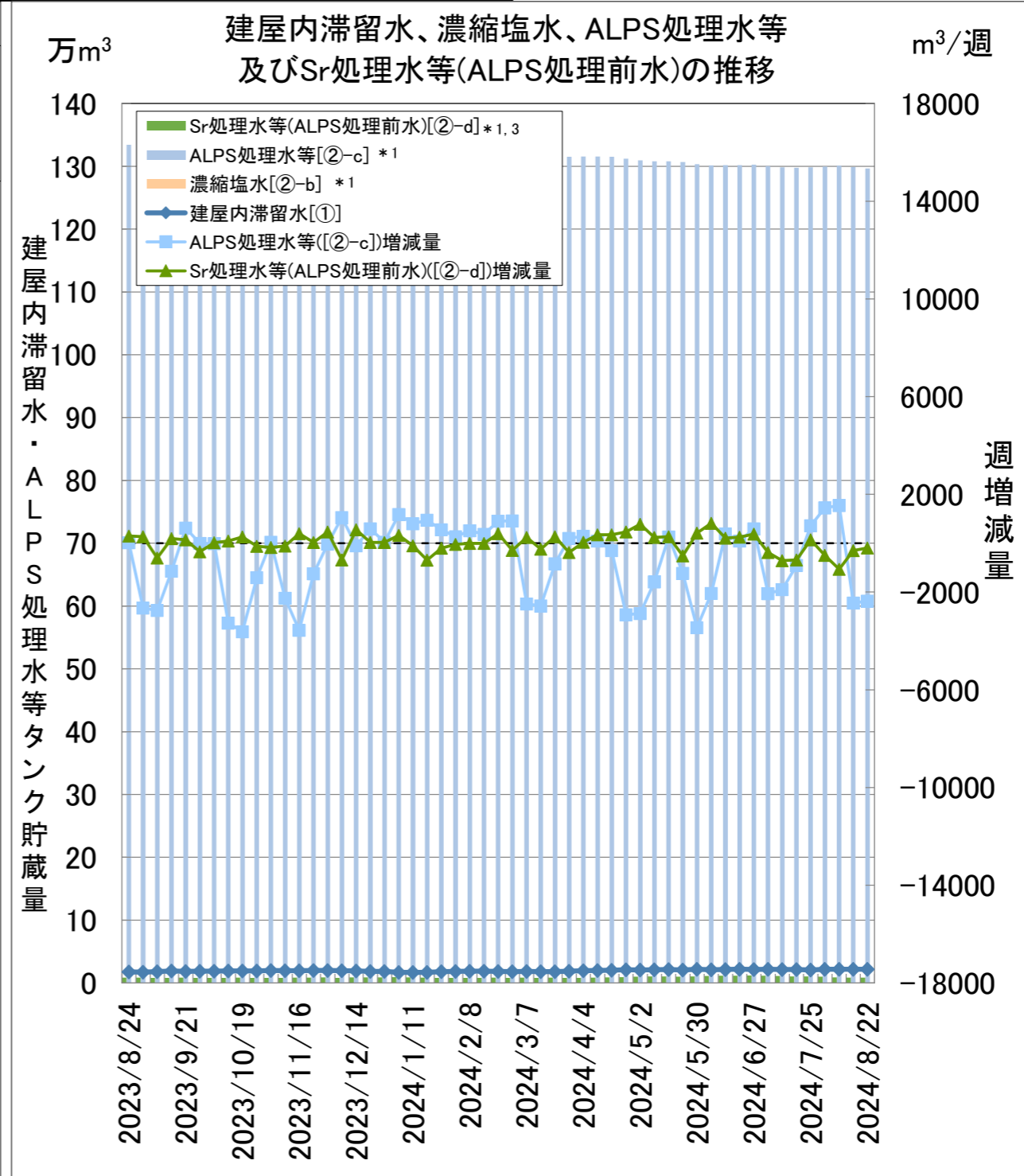
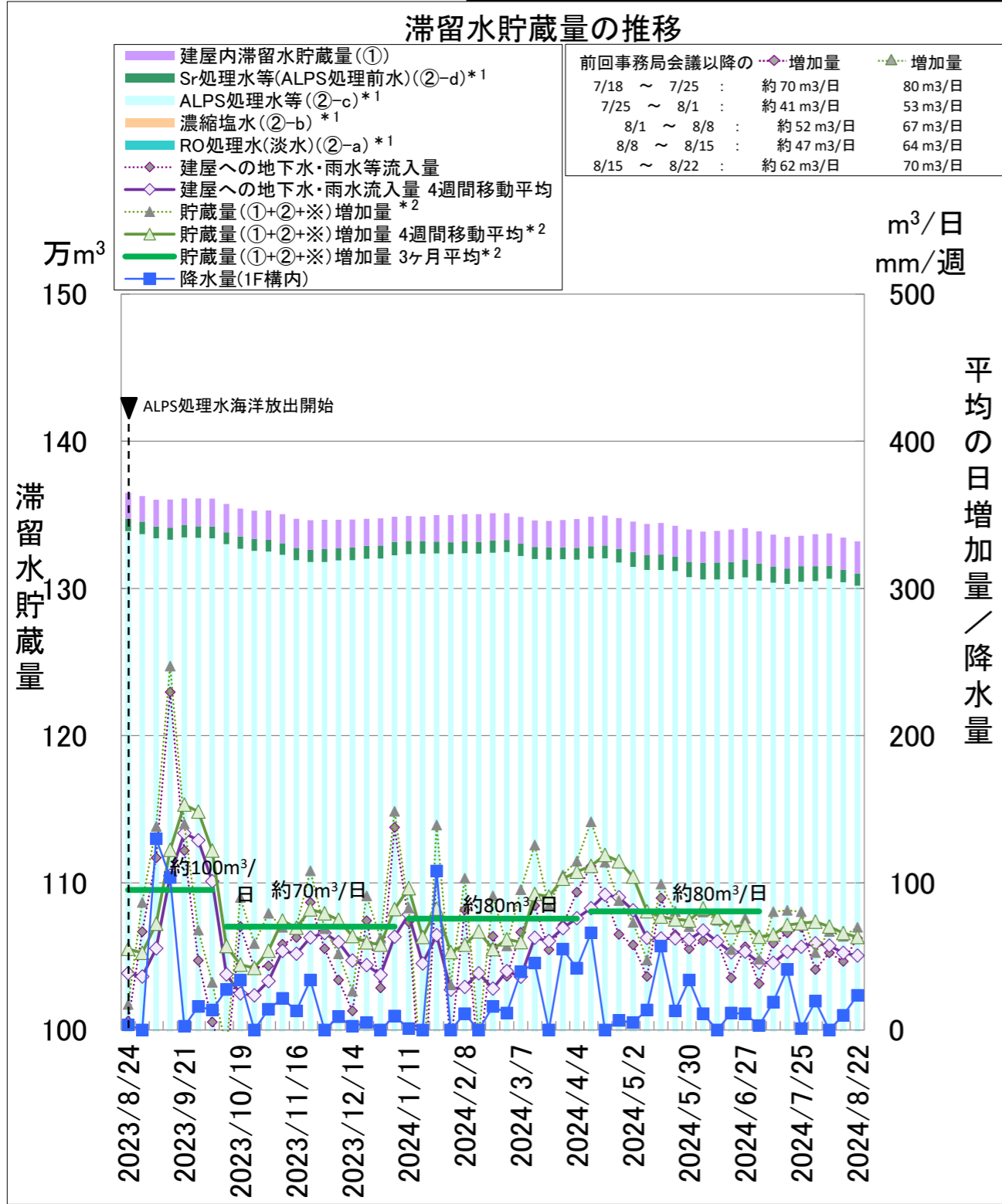


滞留水の貯蔵状況の推移



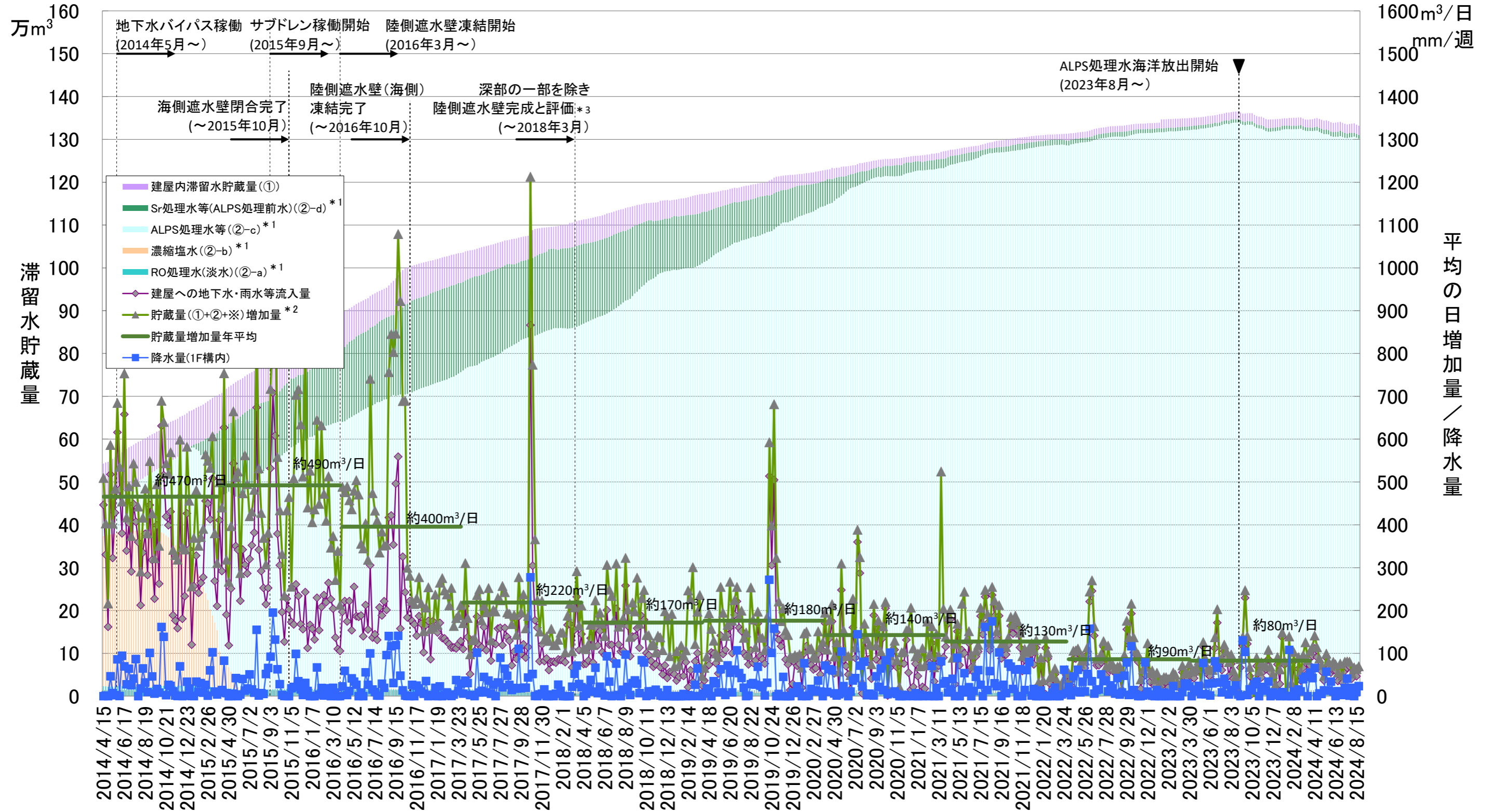
①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(A)、SPT(B)、1~3号機CST、ハッファタンク)
 ②: 1~4号機タンク貯蔵量([②-a]RO処理水(淡水))+[②-b]濃縮塩水+[②-c]ALPS処理水等+[②-d]Sr処理水等(ALPS処理前水))
 ※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)
 *1: 水位計0%以上の水量
 *2: 汚染水発生量の算出方法で算出 [(建屋への地下水・雨水等流入量)+(その他移送量)+(ALPS薬液注入量)], ALPS処理水の放出量は加味していない
 *3: 多核種除去設備のクロスフローフィルタの詰まり等に伴う設備稼働状況によりSr処理水等の処理量が増減

多核種除去設備等の稼働状況

設備	期間処理水 ^{注1,4)}		定格処理量 [m³/日]
	[m³/週] ^{注2)}	[m³/4週]	
既設多核種除去設備	691	3,127	750以上
増設多核種除去設備	0	962	750以上
高性能多核種除去設備	0	0	400以上
高性能 検証試験装置	0	0	50
合計	691	4,089	

注1) 処理量は全て出口積算流量計から算出しており、薬液注入量を含む。
 注2) 処理量691m³の内訳はRO濃縮塩水処理量 0m³、Sr処理水処理量680m³、処理水処理量 0m³、薬液注入量他 11m³注3)を含む
 注3) 処理水を用いて粉体を溶かし生成している薬液量(0m³)を含む。
 注4) 設備の出口積算流量計を基に算出

滞留水の貯蔵状況の推移(長期グラフ)



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(A)、SPT(B)、1~3号機CST、バッファタンク)

②: 1~4号機タンク貯蔵量

(〔②-aRO処理水(淡水)〕+〔②-b濃縮塩水〕+〔②-cALPS処理水等〕+〔②-dSr処理水等(ALPS処理前水)〕)

※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

*1: 水位計0%以上の水量

*2: 汚染水発生量の算出方法で算出 [(建屋への地下水・雨水等流入量)+(その他移送量)+(ALPS薬液注入量)], ALPS処理水の放出量は加味していない

*3: 深部未凍結箇所3箇所については、2018年9月までに凍結完了